

= 子どもが“親”になった時、“自分の子ども”を通わせたい学校を目指して =



みのり

学校だより 第7号

令和元年 10月29日 (火)

東根市立小田島小学校

小田島小学校創立129周年に寄せて

「百年柳」の教えを忘れずにがんばります！ 校長 富塚 義幸

先日(10月25日)、創立記念式を行いました。式の中での私の話と児童代表の発表です。

明治23年10月28日、2階建ての木造校舎、小田島小学校が誕生しました。児童数は257名。それから129回目の誕生日です。皆さんと一緒に祝いしたいと思います。

その時に建てられた校舎は、明治35年9月の暴風雨によって倒れてしまいました。2年後、地域の方の協力により校舎は新築されました。昭和13年2月、今度は火災が発生し校舎は全焼しました。その時も、地域の方は協力を惜しまず、次の年には新しい校舎をつくりました。その後、第二次世界大戦の被害に遭います。アメリカ軍の飛行機が小田島農協の近くに爆弾を投下し、校舎の屋根に大きな穴がたくさん開いたそうです。現在の姿の土台となる3階建ての校舎は、昭和53年に新築されました。昭和57年には講堂、昭和58年にはプールがつけられました。平成25年、校舎耐震化工事により3階建てを2階建てに改築し、現在に至っています。今年度の児童数は171名。先輩方の深い愛情とお力添えのおかげで、穏やかに過ごしていることに感謝しましょう。毎日、迎え入れてくれる校舎に感謝しましょう。気持ちを込めて、「小田島小学校、お誕生日おめでとうございます。」(※全員で)

129年間、校舎、児童の皆さんと地域の方々を見守ってきたのが、グラウンドの東にある柳の木です。名前は「百年柳」ですが、小田島小学校が生まれてから今日までずっと見守ってきました。『「百年柳」の年齢は?』と聞かれたら、小田島小学校の創立を思い出して『年齢は129歳を超えています。』と教えてください。そして、「百年柳」の教え“あきらめないで最後までやりぬくこと”を思い出しましょう。「百年柳」の教えは、小田島地区で生活する「地域の方」の教えでもあります。

「創立129周年おめでとうございます。」 6年 菅野 暁太郎さん

小田島小学校には、129周年という長い長い歴史があり、僕達にはその伝統と文化を受け継いでいくという責任があります。僕達がこれまで、先輩方から受け継いできた伝統の一つに「田植踊」があります。田植踊は、300年も前から小田島地区に伝わってきた伝統芸能です。子供田植踊が始まったのは、今から約30年前だそうです。田植踊は、テーデ衆、早乙女、太鼓、口上・唱の4つがあり、それぞれ難しいところがたくさんありますが、練習していくたびに上達していくので楽しいです。それに、大人数でこの踊りを完成させ、「自分たちがしっかり伝統を受け継いでいる」というやりがいも感じます。5年生の皆さん、僕達6年生はあと少ししか踊る機会がありませんが、小田島田植踊の伝統を守るため、一緒にがんばりましょう。そして、1年生から4年生の皆さんは、高学年になって田植踊ができることを楽しみにしてください。そして、このあと何十年も田植踊が続いてほしいと思います。

そのほかにも、小田島小学校には素晴らしい伝統がたくさんあります。戦争や大雪にもたえ、今年も青々とした葉をしげらせる「百年柳」。実りの秋に、どの学年も収穫を楽しむことができる「みのりランド」。このような伝統ある小田島小学校で学べることを、とてもほこりに思います。この小田島小学校が、もっとすばらしい学校になるように、一人一人が「たすけ合う・すすんで学ぶ・きたえ合う」の「たすき」を意識し、小田島っ子全員で明るく楽しい学校を創り上げていきましょう。



10月のアルバム ～ 芸術の秋「いなほ祭」より ～

“世界中にいる君のために 次は君がエールを送ろう だから笑顔を大切に 夢がふられるよ”… 全校合唱「エール！！」で幕開けした『いなほ祭』（10月26日開催）を特集します。『いなほ祭』に向けた取り組みは、子ども達を大きく成長させました。

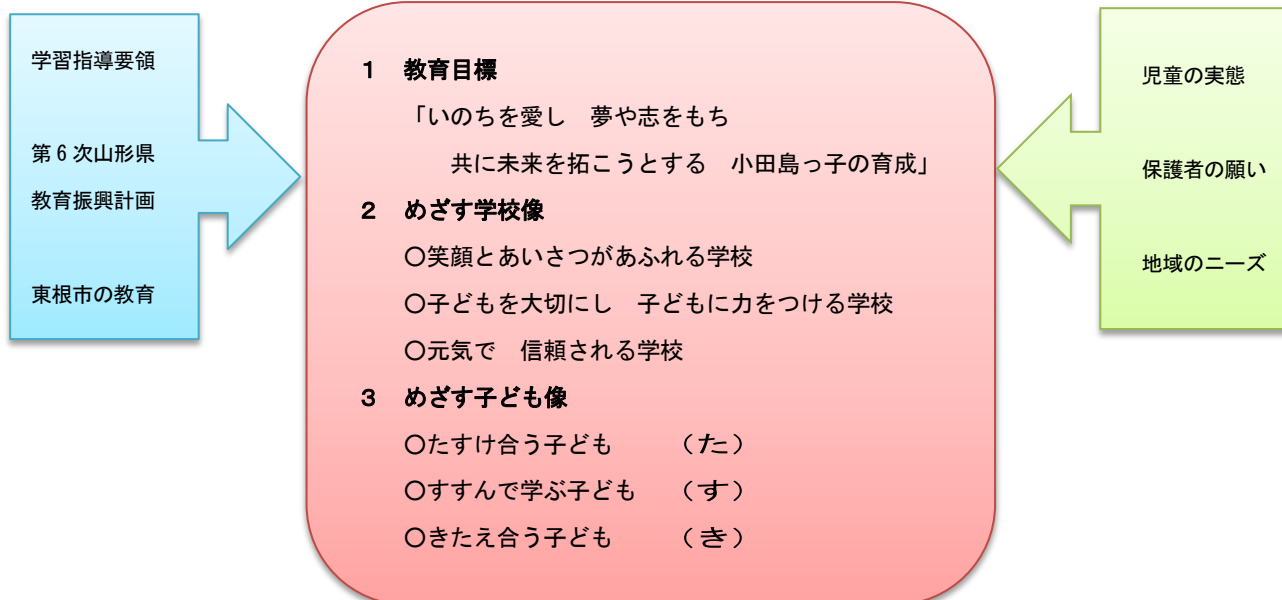


■ 学芸会演目

1年生	ダンス 「Y.M.C.A」 「ドラえもん」
2年生	劇ことばあそび 「あいうえお」
3年生	劇 「三年とうげ」
4年生	合奏・合唱 「もみじ」 「ドラゴンクエスト～ロトのテーマ～」 「いつだって！」
5年生	合奏 「キリマンジャロ」 「木星」 「クラッピングファンタジー第4番～ギャラクシー銀河をこえて～」
6年生	劇 「ゴ・ミーゴ」

資料：私の学校経営 ～子どもに力をつける学校をめざして（学力その3）～

先月は、学習指導要領について紹介しました。小田島小学校の「教育目標」や「めざす学校像」「めざす子ども像」は学習指導要領を踏まえて掲げられていますが、それだけではありません。人の個性が様々なように、学校の個性も様々です。学校のある地域の個性も様々です。ですから、国（学習指導要領）の考え方だけでなく、山形県（第6次山形県教育振興計画）、東根市（東根市の教育）の考え方を踏まえ、さらには児童の実態や保護者の願い、地域のニーズも加味して掲げられています。図で表してみます。



今年度の学校経営で特に力を入れている三本柱は、

- (1) 自らの「いのち」を大切にし、同時に他の人の「いのち」と「生き方」を大切にする教育を推進すること
- (2) これからの社会を主体的にいきぬいていくため、コミュニケーション能力と確かな学力を育成すること
- (3) 郷土に誇りを持ち地域とつながる心を育成するために、学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築すること

実りの秋、成果として「みのりランド」と「実習田」には歓喜の音が響いていました。

